広報　こえのするまち

おーいしだ

大石田町

10
October
2026
No.844



―主な掲載記事―

「いつか」に備えて町防災訓練を実施、大石田まつりフォトコンテスト入賞作品を決定、令和８年度予算執行状況と財政状況

表紙写真／南小稲刈り（10月２日（金）・実習田）

災害時にどこで？何が起きてる？を確認できる災救マップを知っていますか？

災害は、いつどこで発生するか予測できません。また、現在どこで何が起きているかを地図上で確認できる「災救マップ」をご紹介します。

①危険箇所の表示

道路や建物の通行止めや危険箇所がマップ上に表示されますので、タップすると詳細を開くことができます。



②避難所の表示

避難所の場所が地図上で確認できます。また、タップすると避難所の開設状況や空き状況、避難所のインフラの稼働状況を確認することができます。



③各種情報の表示

ハザードマップに記載の浸水想定区域や土砂災害警戒区域を表示したり、注意報、警報、避難情報などの各種情報を表示できます。



災救マップはブラウザ上で動くためアプリ等のダウンロードは不要です。

災救マップはこちらから
(https://map.respect-relief.net)

使用にかかわるご不明点は下記まで
総務課総務グループ
☎35−2111(内線213)

子どもたちにも防災について学んでもらうためにこんな取り組みを実施しています！

①防災教室の開催

町内小学校の５年生32人による防災教室が８月31日(月)に虹のプラザ「中会議室」で行われました。

当日は、下山田地域防災専門員による災害の種類や避難時の自分の行動についてなどの講話や、児童がグループに分かれて災害時の行動を示したマイタイムラインを考えてみるなど防災の意識を高めていました。



②防災給食の実施

町内小学校３校で９月に「防災の日」があることから、町が各校に配置していた備蓄食品を実際に給食として食べてみる防災給食が実施されました。

当日は、レトルトパックに入ったカレーやコーンポタージュなどが配られ、子どもたちは普段の給食との違いなどを感じながら、防災の意識を高めていました。











「いつか」に備えて、、、町防災訓練を実施

掲載写真の説明

①救助・搬送訓練
②煙が充満した建物からの避難の仕方を学ぶ
③段ボールベッドを実際に組み立てる様子
④地区住民による初期消火訓練
⑤防災専門員による防災講話
⑥自衛隊による炊き出し訓練
⑦避難者受付け
⑧尾花沢警察署による災害時に備えた備品の展示
⑨自主防災組織による放水訓練

大石田町防災訓練が９月27日(日)に大石田北小学校で行われ、海谷・岩ケ袋の地区住民や消防団第３分団を中心とした町の消防団員など約190人が参加しました。

訓練は町内で大地震が発生し、全世帯が被災したとの想定で行われ、住民らの避難訓練や消防団と自衛隊による救助・搬送訓練、消防団員による一斉放水、炊き出し配付が行われました。











＃大石田まつり写真コンテスト 入賞作品を紹介

＃大石田まつりの部



特別賞
「小さな君、大きな未来」
加藤　理（宮城県仙台市）



特選
「大輪の花」
伊藤　拓真（東根市）



入選
「虹からの大石田詰め合わせ」
高橋　重智（山形市）



入選
「大輪の花」
秋保　洋幸（山形市）



入選
「二十歳の意気」
原田　真瞳（高畠町）

＃維新祭の部



特別賞
「気分上々」
木内　徹（大石田町）



特選
「熱気」
早坂　武弘（尾花沢市）



入選
「雀達の決めポーズ」
鈴木　貞治（天童市）



入選
「指先に魂込めて」
多田　次郎（宮城県仙台市）



入選
「幻想」
伊藤　拓真（東根市）

令和８年度の予算執行状況と財政状況をお知らせします

★一般会計・特別会計の執行状況

（単位：千円）

会　　計	予算現額	収入済額	収入割合(%)	支出済額	支出割合(%)
一　般　会　計	9,103,778	3,391,884	37.3	2,725,246	29.9
国民健康保険特別会計	821,882	339,163	41.3	262,082	31.9
介護保険特別会計	916,460	438,776	47.9	332,632	36.3
後期高齢者医療特別会計	152,341	60,582	39.8	45,586	29.9

★公営企業会計の予算の執行状況

（単位：千円）

会　　計			予算額	執行済額	執行率(%)
簡易水道事業会計	収益的収入と支出（営業するための収益と費用）	収入	20,426	1,134	5.6
		支出	20,426	1,198	5.9
	資本的収入と支出（施設整備などの資金と費用）	収入	9,924	0	0.0
		支出	11,043	2,087	18.9
農業集落排水事業会計	収益的収入と支出（営業するための収益と費用）	収入	104,096	22,331	21.5
		支出	104,096	14,413	13.8
	資本的収入と支出（施設整備などの資金と費用）	収入	86,905	14,370	16.5
		支出	92,282	13,082	14.2

★財産の現在高

区　　分		数　量
土　　地		1,051,171㎡
建　　物		59,056㎡
有価証券		5,110千円
出資による権利		54,466千円
債　　権		― 千円
基　　金		3,383,227千円
内訳	財政調整基金	1,387,209千円
	減債基金	221,173千円
	土地開発基金(現金)	80,516千円
	その他の基金	1,694,329千円

★町債（借入金）の現在高

（単位：千円）

会　　計	金　額	構成比(%)
一　般　会　計	4,731,685	97.7
簡易水道事業会計	13,260	0.3
農業集落排水事業会計	99,806	2.0
一時借入金	0	0.0
合　　計	4,844,751	100.0

※数値は、土地と建物は令和８年３月31日現在、その他は令和８年９月30日現在のものです。
※単位未満の数値は、四捨五入により端数処理しています。
※令和９年度からの法改正に伴い、今後は９月末現在の状況のみ公表といたします。

■総務課　財政グループ　☎35−2111（内線214・215）



佳作
「百花繚乱大石田の夏」
小野寺　健太（宮城県仙台市）



佳作
「スーパージャンボスターマイン」
三浦　敏紀（千葉県千葉市）



佳作
「成人神輿の顔ぶれ」
須藤　征義（大石田町）



佳作
「咲き誇れ町民号大石田の空に」
川俣　光広（遊佐町）



佳作
「百花繚乱」
白田　恭悦（天童市）



佳作
「光さえも操った」
井上　大和（大石田町）



佳作
「真剣な、まな・ざ・し」
三浦　敏紀（千葉県千葉市）



佳作
「ヤットサー」
佐竹　吉廣（寒河江市）



佳作
「宵あかり」
木内　徹（大石田町）



佳作
「最上川芭蕉連」
山口　恒弥（東根市）

虹のプラザ「エントランスホール」で、大石田町まつり写真展を下記の日程で開催中！

大石田まつり写真展
期間：10月26日（月）～11月25日（水）まで





やりたいお仕事を体験! キッズタウン大石田を開催

キッズタウン大石田が、９月27日(日)に虹のプラザと役場駐車場で開催されました。

これは、キッズタウン大石田実行委員会（高橋堅代表)が主催し、毎年行われているものです。

子どもたちは、会場に設けられたお店のブースでお菓子作り体験やリハビリ体験などをしていました。会場には、プログラミングなどのIT業、療術業や金融業、飲食業など町内外のさまざまな業種の事業所や団体のブースが出展され、多くの子どもたちが訪れていました。

参加した髙橋龍馬さん（南小６年）は「いろいろな仕事を体験したいと思って参加しました。特に高所作業車での体験がとても面白かったです」と話していました。



毎日のラジオ体操が評価されラジオ体操地方表彰を受賞

伝統として毎日ラジオ体操を実施してきた功績が認められ、ラジオ体操優良団体表彰地方表彰を大石田北小学校が受賞しました。表彰式は10月１日(木)に大石田北小学校で行われました。

同校では、令和３年から体力をつけるために始め、工夫しながらこれまで毎日ラジオ体操を続けてきました。

運動委員長の青木暁之助さん（６年）は「以前に優勝した団体などを見本にお互いに直した方が良いところを指摘しあって、毎日続けてきたことが認められて嬉しいです。これからも元気いっぱいに頑張りたいと思います」と話しました。



楽しみながら町を巡るトムソーヤの冒険inまちなか

コース図を解読しながら、まちなかに隠された問題を解き、点数を競う「トムソーヤの冒険inまちなか」が９月12日(土)に町内一円で行われました。

班ごとに違うコース図を使用し、普段歩くことの少ないまちなかを親子で冒険しながら楽しみました。

参加者は、「こんなところにこんなものがあるなんてと思うようなスポットなど、大石田を深く知るきっかけになりました」と話していました。





ニュース玉手箱

食活イベント 北村山高校そばボーイズが活動報告

北村山高校のそばガールズとそばボーイズが研究した「そばきんつば」完成までの活動発表と試食会が町内で行われました。

９月16日(水)には大石田南小学校４年生の合同クッキングが大石田南小学校で行われ、児童たちは、３班に分かれて、あずき、かぼちゃ、さつまいもあんの「そばきんつば」を作りました。児童たちは、そば粉を混ぜた生地をあんにつけ一面ずつ丁寧に焼いていました。

また25日(金)に行われた栄養教室では、一般社団法人ナトカリ普及協会 吉田悠さんによる血圧管理のためナトリウムとカリウムのバランスを意識した食生活についての講義と、そばガールズとそばボーイズによる「そばきんつば」研究のきっかけや工夫点など完成までの活動が発表されました。その後、参加者に試食を配り、参加者はその美味しさに驚いていました。



来年の干支「未」を作る木目込み人形教室を開催

きらめきセミナーが10月１日(木)に虹のプラザで行われました。

このセミナーは、趣味や教養を深め、生きがいやより豊かな生活を送ってもらうために開催しています。

今回は、毎年好評の木目込み人形作りを行いました。木目込み人形は桐の粉を固めて作った型にヘラなどを使用し、色鮮やかな布の端を押し込んで衣装をつけていくもので、参加者は鮮やかな布を使い、自分だけの人形を作っていました。



町のスポ少主催の野球大会 大石田最上川ＣＵＰを開催

町内の野球スポーツ少年団である大石田キンダーズ主催による「大石田最上川CUP」が、９月12日(土)に大石田中学校グラウンドで行われました。

当日は、大石田町と友好協定を結んでいる宮城県涌谷町の野球スポーツ少年団「涌谷ブルースターズ」をはじめ、４つのチームが優勝を目指し、しのぎを削りました。

第３回となった今大会では、大石田キンダーズが見事優勝を果たしました。

ニュース玉手箱

お米の大切さを学ぶ 大石田南小で稲刈り体験

大石田南小学校５年生の児童が10月２日(金)に昔ながらの稲刈り作業を体験しました。

これは、横山地域農地・水・環境保全組織が伝統農法の実践や学校教育との連携のため実施しているものです。

児童たちは、慣れない鎌を手に、黄金色に実った稲を丁寧に刈り取り、その後、稲架掛けを行いました。

参加した小内凛乃さんは「稲刈りは初めてで稲が軽いと思ったけど、束ねると実際はとても重たくて大変でした」と話していました。







伝統を引き継いで 大石田北小学校で太鼓の授業

ふるさとのよき生活文化や知恵、伝統芸能などの素晴らしい地域文化を教え合い、学び合いながら伝承していく「ふるさと塾」が大石田北小学校で行われました。

講師は、町内で活動している雪国鷹巣太鼓保存会で、10月２日(金)に班ごとに分かれ、自分たちでリズムを合わせる練習をしていました。

児童たちは令和８年度で閉校となる大石田北小学校の閉校記念式典で演奏を披露するために日々練習を重ねています。

練習に参加する６年生の柴﨑潤季さんは「リズムを合わせるのが難しいけれど、伝統を引き継ぐために頑張りたいです」と話しました。



災害支援に役立てて 大石田中学校で募金を実施

大石田中学校生徒会が９月24日(木)に大石田町役場を訪れ、熊本地震や令和８年８月千葉豪雨で被害に遭った方へ集めた募金を庄司町長に手渡しました。

これは、災害に遭われた方に対して、何かしたいという想いから実施されたものです。

この募金は町を通じて、日本赤十字社に渡され、災害の復興などに充てられます。

温かな善意をありがとうございます。

虹のプラザ文化芸術プロジェクトマネージャーコラム vol.6
「芸術の秋の楽しみ方」

虹のプラザ文化芸術プロジェクト統括マネージャーの大橋です。

秋の時報が町に染み渡るころ、大石田の景色や香りにも季節の深まりを感じます。いつもの道、川の流れ、田畑を渡る風。毎年繰り返される風景ですが、ふと足を止めると去年とは違う気持ちで眺めている自分に気づくことがあります。

「芸術の秋」と言いますが芸術に触れることは作品を観たり聴いたりすることと同時にこうした日常を感じ直すことでもあるのではないでしょうか。

私たちが取り組む大石田ＡＩＲもそのための機会の一つです。アーティストが地域に滞在し、この土地の暮らしや人と出会いながら、表現を生み出していく。そこで特に大切にしているのはアーティストの目線を通して、地域や自分自身を見つめ直すことです。

私たちが何気なく通り過ぎる場所で誰かが立ち止まる。聞き慣れた音に耳を澄ませる。普段の会話の中に表現の種を見つける。その姿に触れると「ここに、そんな面白さがあったのか」と、見慣れた町に新しい輪郭が生まれます。

そしてアーティスト自身も、この町との出会いによって自分の表現や考え方を問い直していきます。

大石田ＡＩＲは、誰のため、何のためにあるのか。私はこの町で暮らす私たちと、ここを訪れる人、そしてこれからの町を担う子どもたちが、まだ気づいていない地域の価値や可能性に出会うための取り組みだと考えています。

それは、町に吹き込む風のようなもの、あるいは地域の土壌をゆっくり潤す水のようなものかもしれません。出会いや対話が暮らしの中に染み込み、いつか思いがけない場所から芽が出る。

大石田ＡＩＲか届けたいのは、そうした発見や可能性そのものなのです。

私たちの日常には、見通しや安定が必要です。その中に少しだけ、答えの決まっていない時間や、いつもの感覚が揺らぐ余地を持つことも大切なことだと思っています。不確実さや不安定さに触れながら、「分からないけれど、もう少し見てみよう」と思える感性が、新しいものを受け止め、自分で考える力を育ててくれるのではないでしょうか。

そこで起こる変化は自分でも気づかないほど小さいかもしれません。以前は気に留めなかった景色が目に入る。誰かの話をもう少し聞きたくなる。子どもの思いつきを一緒に試してみたくなる。

出会ったときには言葉にできなかったことが、しばらくして自分の感じ方や行動の中に現れることもあります。

この秋の大石田の美しさを、次の世代はどのように受け取り、育み、守っていくのでしょうか。

そのためには、まず私たち自身が、この町の何を美しいと感じ、何を大切にしているのかを見つめる必要があると思います。そして子どもたちにも、自分の目で発見し、自分の言葉や身体で表現する機会を手渡していきたいと思います。

秋の時報に耳を澄ませ、風景や香りを感じながら、いつもの町を少し違う目で眺めてみてください。あなたが見つけた大石田の美しさを、次の世代にどう育んでいけるのか。ぜひ、皆さんとそんな話をしてみたいと思っています。

虹のプラザ文化芸術プロジェクト統括
マネージャー　大橋武司

町長コラム vol.34
「次世代へ虹をかける」
『新そばまつりを前に…』



皆さん、こんにちは！

９月中は長雨が続き、農作物への影響も心配されましたが、10月に入りようやく秋らしい気候となりました。過ごしやすい一方、朝晩はぐっと冷え込むようになりましたので、どうぞ体調に気をつけてお過ごしください。

さて、今年も「大石田町新そばまつり」が、10月31日(土)、11月１日(日)に開催されます。私自身、そばが大好きで、そば打ちや食べ歩きも楽しんでいます。新そばの豊かな香りと味わいを思い浮かべながら、「早く食べたいな」と待ち遠しい日々です。

そばといえば、山形を代表する食文化の一つ。農林水産省の「にっぽん伝統食図鑑」では、山形そばの一番の特徴を「多様性」と紹介しています。村山・置賜・庄内・最上の各地域で、家ごと、店ごとに工夫を重ね、豊かなそば文化が育まれてきました。

県民食とも言える「ゲソ天」との組み合わせ、親鶏のだしが味わい深い河北町の「冷たい肉そば」、山菜やきのこの汁で楽しむ西川町の「月山山菜そば」など、食べ方も様々です。

なかでも「板そば」は、農作業の後などに、長い板や木箱に盛ったそばを皆で囲む「そば振る舞い」に由来するといわれています。地域や親戚の集まりでそばを打ち、振る舞う習慣には、人を迎える温かさが息づいています。

そばは、大石田のもてなす心を受け継ぐ食文化です。今年の新そばまつりでも、町内はもちろん、県内外からお越しの皆さんが食べた瞬間の「にんまりとした笑顔」「うなづくように食べてくれる笑顔」が広がることを楽しみにしています。

大石田町長　庄司　中

町小中学校長会 養護教諭部会 から

町小中学校メディアコントロールデー

11月16日(月)・17日(火)・18日(水)



子どもたちの望ましい生活習慣をつくるために、今年度も11月16日～18日に町内の小中学校で一斉にメディアコントロールの取り組みを行います。

『メディアコントロール』とは、メディア機器に触れる時間や約束事を決め、それらを自分で守ることです。

目的：ご家庭でのメディアの利用による生活リズムの乱れや脳への害を改善するとともに、メディアの利用を減らし、家族との触れ合いや読書の時間を持つこと。
※ここでのメディアとは、パソコン・タブレット・スマートホン・携帯ゲーム・テレビゲーム・DVDなどのデジタルメディア機器のことです。

小中学校の子どもたちにとって、今は、脳をはじめとする体の各器官が成長する大切な時期です。自分の持っている力を十分に発揮するためには、基本的な生活習慣の確立が不可欠です。中でも、近年は「メディアコントロール力(りょく)」が基本的な生活習慣をつくる大事な要素となります。



この機会に、家族みんなでメディアコントロールにチャレンジしましょう！ぜひ、お子さんやお孫さんへの励ましや温かい声がけ、見守り等をよろしくお願いします。

ご協力よろしくお願いいたします！！

小学校の統合に向けて

9月10日(木)に「サンサンスタディ」の教科版として、大石田小学校を会場に町内３校の全校児童（208名）が集まり、３校合同授業を行いました。

はじめに、体育館で全校集会を行いましたが、みんなで歌った校歌は、いつもと違う大きな響きが体育館中に広がり、とても迫力があり、圧巻でした。

その後、学年ごとに分かれ、教科授業を行いました。

最初はちょっと緊張した様子でしたが、すぐに友達と関わりながら、楽しそうに、そして一生懸命に学習する姿が見られました。

交流学習も残りわずかになりましたが、来年４月からは一緒の学校の仲間として、充実した学校生活を送っていけるように、引き続き、教育委員会も支援してまいります。





■教育文化課　学校教育グループ
35−2111(内線252)

お茶飲みすねが？



まちとしょ



～大石田町立図書館　information～

Web OPAC
PC・スマホ版

◆☎35-3877　◆公式ＨＰ　http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library
◆大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。
利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

■開館時間　午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
■休館日　毎週木曜日(祝日の場合翌日)　**《11月の休館日》5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)**



今月は、どの本を読む？

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します！



『米粉はミライ！日本の食と農を拓く挑戦物語』

（石井 里津子／著　旬報社）

米粉はニッポン農業の希望！ かつてブームとなるも、食味や調理のしにくさで下火となった米粉。その復活劇が大阪の下町から始まった。製粉業者や農業技術者など「日本の農業を復活させたい」という想いでつながる人々を描く。



『「おくのほそ道」新考 自筆本からわかる芭蕉の真意』

（魚住 孝至／著　筑摩書房）

1996年に発見された芭蕉自筆の「おくのほそ道」。草稿ではなく、芭蕉自身が上質紙に丁寧に清書した自筆本から、作品に籠めた芭蕉の真意、そして「軽み」の展開を解明する。日本思想研究者による芭蕉研究の集大成。

『かっこいいピンクをさがしに』

（なかむら るみ／文・絵　福音館書店）

ピンクは「かわいい色」？ 建築、植物染色、口承文芸、化学、服飾、美術、写真、色彩論など、様々な分野の専門家に「ピンク」の話を聞いてみたら、ピンクの本当の姿が見えてきて…。



『ジャックとハロウィンかぼちゃ』

（寺島 ゆか／作・絵　教育画劇）

悪魔が、いじわるで嘘つきなジャックを、地獄に連れて行こうとします。でも、その悪魔までだましてしまったジャックは…。ハロウィンかぼちゃの由来がわかる、子どもたちが大好きな行事をおもしろこわ～いお話にした紙芝居。



※紹介文は「TRC MARC」より引用。すべて町立図書館蔵書。



大石田町地域おこし協力隊コラム

地域おこし協力隊の椛島です。秋も深まり、過ごしやすい気候となりましたね。

いよいよ自分は任期最終年に突入いたしました。

KOE no KURAの運営では、新たに交流の機会を増やすための企画も行いますので、ぜひお立ち寄りお待ちしております。

今月の18日には協力隊として関わるのは最後の、「大石田どきどきダンスフェスティバル４」が虹のプラザにて開催されました。

演劇・映像・ダンスなど多角的に、文化芸術での発展を目指して取り組んできた大石田AIR主催のイベントに関わるのも数える程となってきました。

たくさんの方に届いてほしい、そう想いながら毎企画取り組んでいます。

他にも町内施設を使った新たな事業や、映像・SNSでのPR、芸術での文化水準の拡張など、まだまだ仕掛けていきます。

そして、任期満了のその日まで精いっぱい走り切ろうと思いますので、最後まで宜しくお願い致します。



あなたの文芸欄

俳句

秋雨に色とりどりや傘の波　青木ミサ女

曼珠沙華雲上に鳥海の峰　糸尾樫

つるべおとし予定こなせぬ畑仕事　柏倉ヤス子

悲しいと言はず見上げる天高し　伊藤千代

石仏をなでたる風や萩の花　木村満喜子

雨風が過ぎ去りし朝栗拾ひ　茂

秋の夜や散歩をねだる猫抱え　星川紀一郎

栗拾うカナチョロ一匹（いっぴき）カサコソと　G・G

秋空に雑草だけは元気よく　佐藤一郎

短歌

バランスが崩れることの侘しさに立ち寄るカフェの珈琲ひとつ　小玉春歌

岩陰に緑葉のばし初冬には赤き実をつくその名はアオキ　伊藤哲夫

雨上がり庭の草花潤って今日は水をかける事なし　鈴木智恵美

折り良くも雨に濡れたる紫陽花の濃き紫にしばし佇む　鈴木隆行

蘭の紅の実も毒のある種も食みしか永井ふさ子は　小関祐子

鳥類の啄み恐れイチジクに雪吊り状の糸をめぐらす　海藤忠男

※先月掲載の海藤忠男さんの歌について表記の誤りがございましたので訂正させていただきます。
（誤）蕁草　→　（正）蕁菜

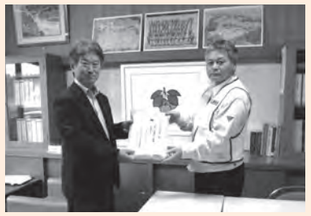
水明苑が町内小学校に手作りの雑巾を寄贈



水明苑の利用者の手作りの雑巾が10月２日(金)に町内３小学校に寄贈されました。

これは、閉校となる小学校を綺麗にしてほしいという想いから実施されたもので、当日は、利用者から閉校記念実行委員会の委員の児童へ手渡されました。

町防犯協会が小学校に反射材を寄贈



町防犯協会から町内３小学校に反射材が寄贈されました。

寄贈された反射材は子どもたちが安全に通学できるようにという想いから毎年実施されています。

教育委員に鈴木善巧さんが再任



第３回大石田町議会定例会の同意を得て、鈴木善巧さん（鷹巣１）が教育委員会委員に再任されました。任期は令和８年10月１日から令和12年９月30日までです。

死亡事故ゼロ2,306日目

（10月15日現在）

大石田町の交通事故発生状況

（令和8年１月１日～10月15日）



●発生件数　４件　（＋１件）
●負傷者数　４人　（＋１人）
●死亡者数　０人　（±０人）
※（　）は前年比

今月のポイント

夕暮れが早くなりました。
夜道を歩く時は、夜光反射材やLEDライトを身に付けて、交通事故防止に努めましょう。

毎月１日は「大石田町民交通安全行動の日」

11月の主な行事予定

日	行事予定
1(日)	生涯学習表彰式／午前9時／虹のプラザ「なないろホール」
2(月)	母子健康手帳交付・健康相談／午後1時30分／役場「相談室」
3(火)	大石田町芸術祭合同公演／午後1時／虹のプラザ「なないろホール」
8(日)	秋のノルディックウォーキング／午前９時30分／町内一円 町民大学地域学講座「佐藤家の蔵、庭、座敷」／午前10時／佐藤家の蔵 次年子秋の味覚まつり／午前８時45分／ふるさと自然館次年子
11(水)	行政相談／午後1時30分～午後3時／虹のプラザ 心配ごと相談／午後1時30分～午後4時／社会福祉協議会
15(日)	大石田町芸術祭音楽公演／午後２時／虹のプラザ「なないろホール」
16(月)	母子健康手帳交付・健康相談／午後1時30分／役場「相談室」
25(水)	無料法律相談(要予約)／午後1時30分～午後4時／社会福祉協議会
28(土)	大石田町芸術祭演劇公演／午後７時／虹のプラザ「なないろホール」

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

日曜・休日急患の当番医

11月　診療時間：午前８時30分～午後５時

日	当番医院名	電話
1日(日)	吾妻クリニック	(35)2021
3日(火)	さかえクリニック	(53)8181
8日(日)	後藤医院	(35)2034
15日(日)	おくやま内科医院	(24)0980
22日(日)	中央診療所	(23)2010
23日(月)	清治医院	(23)2125
29日(日)	伊藤クリニック	(23)3350

家族の健康管理に気をつけて

～おおいしだのとんとむがすあったけど㊽～

へったれ嫁こ　その2

はえづ見っだ姑と婿殿、
「アハハ。アハハ。」
て、腹おさえで笑てだえば、ほごさ、隣のばんつぁ聞きづけて来て、
「なえだて、おまえの家で、朝っぱらがら、『アハハ、アハハ』って、おもしゃそうに、ほだい笑って何したんだまずぅ。」
て言ったけど。
今までのごど、姑ぁ語て聞かせで、
「おらだも、もらい笑いしったどごだけなよ。」
て言ったえば、
「何だて、ほだえおもしゃえ屁だら、おれも聞ぎだいけちゃ。」
て言て、もどて行ったけど。
もどて行ったど思たら、ばんつぁだば三人も四人も連れで来て、
「おらださも、ほだいおもしゃい屁聞がせでけんねがぁ。」
て来たんだど。ほしたら、
「屁は、今たっでみろてやっでも出るもんでないなよっす。明日たっでけろとやっでも出るもんでもないなだずう。屁出だぐなったらお姑さんさ言て、お湯沸がして、お茶菓子こしぇで、お茶づがいあがっさげて、ほれまで待っでけらっしゃいっす。」
て言ったけど。ほしたら、ばんつぁだ、
「んだら、まだ、来っさげて。」
て言って、もどて行ったけど。
んだげんとも、ほの日のうづに、村中ほの話になって殿様どごさまで聞こえでえったけど。
ほの殿様さ、年ごろになるお姫さまえだけど。ほのお姫さま、生まっでがら今まで一度も笑ったごどなえなだけど。んまえもの食せでも、赤い着物買ってけっでも、一度も笑顔ひとつ見せだごどなえけど。
ほの嫁この話ば聞いた殿様ぁ、お姫さまの笑顔見っだい一念で、
「その嫁こ、城に来てもらいたい。そして、屁をして姫を笑わせてもらいたい。城に来てくれるように頼んでくれ。」
て、家来の者さ言ったけど。
家来の者、嫁この家さ行って、
「へったれ嫁こ、えだがぁ。」
て言ったえば、
「へったれ嫁こっていうなは、えねなっす。」
て、姑の声返ってきたけど。家来は、屁たっで笑わせだ嫁この噂を聞いだ殿様の話ばして、
「実は、嫁こさ頼みあって来た。『姫の前で屁して、姫を笑わせてもらいたい。』と言う殿様のたっての願いを受けて来たんだ。」
て言ったえば、
「ほだい言わっでだもの、行かんなねべぇ。行ってこえ、行ってこえ。」
て、姑ぁ、嫁こさ言ったけど。

（つづく）

○出典『大石田のとんとむがす』
（大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年）



◇編集・発行　大石田町総務課
〒999-4112　山形県北村山郡大石田町緑町1番地
☎　0237-35-2111
FAX　0237-35-2118

◇印刷／大場印刷㈱
『広報おおいしだ』の文字書体は誰にでも読みやすいユニバーサル書体を使用しています。

大石田町公式アカウント開設
LINEはじめました
防災情報や各種行政情報を受け取ることができます。
友だち登録をお願いします！
登録方法
右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。
大石田町公式LINE

防災放送の内容を電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。
このダイヤルは定時（夕方６時のメロディ等）放送を含め、直近の放送から８時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル：0237-48-8444

■総務課総務グループ　℡35-2111（内線218）

町の人口　令和８年10月１日現在

世帯数	2,172戸	（－１）
総人口	5,613人	（－10）
男	2,799人	（－７）
女	2,814人	（－３）

（９月中の異動）

出生	１人	転入	９人
死亡	７人	転出	13人

※この人数は外国人も含めたものです。